



会計人の教養

12

2016 DECEMBER



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">教養長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p>② 「おねがいします！」</p> <p>③ 「ありがとうございました」</p> <p>④ 「失礼します」</p> <p>⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div>	<p>進行役：①一步前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">②「〇ページをお開き下さい」</p> <p style="padding-left: 20px;">③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <p style="padding-left: 40px;">★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</p> <p style="padding-left: 40px;">★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</p> <p style="padding-left: 40px;">★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」</p> <p style="padding-left: 40px;">「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一步前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「以上で朝礼を終わります。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

会計人の教養

12

ひとりひとりが経営者

20 19 17 16 15 14 13 12 10 9 8 7 6 5 3 2 1

火月土金木水火月土金木水火月土金木

西郷隆盛 人生という名の意思決定 鍋 眼鏡とコンタクトレンズ ラーメン 教養人 蛍丸サイダー 経営の神様 光と影 独立自尊 怠惰 視野を広げる 感動のタクシー会社 炬燵(こたつ) 心のゆとり カニ味噌 前前世

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

神様がこいつはこれだけ努力
しているんだから何とかして
やらなくてほと思うぐらい
努力しなさい 稲盛和夫さん

学校掲示「今日の言葉 2015年3月20日分」より

※「今日の言葉」とは、学生が毎日交代で名言・格言を書くコーナーです。

23 22 21

金木水

上
司との
付き
合い
方
暮
らしを
支え
る
万
能
食
品
日
々
の
掃
除

20 19 18

2016 DECEMBER 平成28年 師走[しわす]

第2巻12号(通算18号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

「前前前世」というフレーズを、最近聞いた人は多いのではないのでしょうか。これは、映画「君の名は。」の主題歌となった曲で、RADWIMPSラッドウィンプスというアーティストが作詞作曲を手掛けたものです

RADWIMPSの歌詞は、直接的な表現を使って思いを表現するのではなく、何かに例えたり、情景を出したりと間接的な表現が多く、言葉の使い回しを考えて作られているように思います。

前前前世で言えば「君の前前前世から僕は君を探し始めたよ」の部分など、直接的に相手に好意を伝えるのではなく、遠回しに伝える、言葉の使い回しがうまくされています。

直接的に言えば簡単に相手に気持ち伝えることが出来ますが、遠回しに言うことでより言葉に深み、重みが出てくるような気がします。

「君の名は」は今大ヒット上映中です。映像だけでなく、音楽にも注目してみるとより映画の中に惹き込まれて、楽しくなるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆映画の音楽も楽しみましょう。

とうとう肌寒く感じる時季が訪れてきました。

日本では、このような季節の変わり目に、景観、文化、慣習等について、四季折々の多様な側面を見ることが出来ます。特に、食文化はその最たる例と言えるでしょう。

例えば、同じ食材でも、季節によって味が異なるものがあり、私たちは、これを旬の食材として楽しむことができます。その中でも、カニ味噌という食材は特別な位置づけです。

人間でいう膵臓すいぞうや肝臓かんぞうと同じ働きを行うカニの部位がカニ味噌とよばれます。カニ味噌は、食通の間でも珍味ちんみと評価され、冬のような湿気がほとんどない時季では、脂質が凝縮されて、絶品ともいえる味になるそうです。

高額ではありますが、今でしか味わうことのできないこの価値ある珍味を、是非、体験してみてくださいいかがでしょうか。

今日の心がけ◆カニ味噌を食べてみましょう。

かっこいい人、素敵なお人、尊敬する人、そのような人が、みなさんの周りにどのくらいいますか。

高校時代の恩師であるO先生は、私が尊敬する人の一人です。

O先生は、口うるさいことで私の学校ではちよつとした有名人でした。そんなO先生のことが嫌いだった私は、授業中悪態をつき、困らせるようなことばかりをしており、嫌われても仕方がないと思っていました。

そんなある日、私が東京CPA会計学院への入学を心に決め、O先生に簿記のことについて教を乞いにいきました。それまでのことを謝ると、O先生は快く許してくれ、まるで自分の腹を痛めて生んだ我が子のような目で私に教えてくれました。

なんて、心の広い人だ。とその時初めて、O先生に対して尊敬の意が生まれたと同時に、大事なものは心のゆとりを持つことだと学ぶことができました。

今日の心がけ◆心のゆとりを持ちましょう。

朝夕の、凍てつくような北風が肌身に沁みる季節が訪れました。この季節になると、暖房器具を使用する機会も増え、冬が来たのだと実感する人も多いでしょう。

暖房器具のなかで、一番日本人にとって身近なものが炬燵です。炬燵は、室町時代から存在していたとされており、長きに渡り日本人に愛用されて来ました。

江戸時代では、炬燵をだす日が「亥の月亥の日」と決まっていました。その時代は、練炭を燃料としており、現代は、椅子に座って使える洋風の炬燵や、掛け布団なしで使える炬燵が登場し、オフシーズンではインテリアとしても活用できるようになりました。

このように、時代の変化によって炬燵の機能性は向上してきましたが、炬燵を使用し、たどきの温もりは、今も昔も変わらないと思います。

これからも、炬燵のように時代を超えても変わらぬ温もりを、伝えていけたら良いですね。

※2016年は、11月の1・2日頃をさす。

今日の心がけ◆温もりを感じましょう。

長野市民から圧倒的な支持を得て、県内No.1の売上実績を誇るタクシー会社である中央タクシー。中央タクシーは地方で経営するタクシー会社の9割が赤字といわれる中、破竹の勢いで利益を伸ばしています。

お客様が「30分待つてでも乗りたい」と言うほどの人気を支えるのは、徹底した「真心サービス」にあります。中央タクシーのすべてのドライバーは、タクシー会社とは思えないほど親切です。高齢者にはさっと手を貸し、さりげなく買い物袋を運び、雨の日には傘も差します。そして、車内の会話を通してお客様の家族のことを気にかけて、30メートルという近距離でも喜んで運行してくれる、まるで家族のような存在です。

中央タクシーには、接客マニュアルは存在しません。実は、その質の高いサービスを支えているのは、驚くほど仲の良い社員たちの人間関係です。会長の宇都宮氏は、「社内の良い人間関係こそが、良いサービスを生み出す」と言われています。

中央タクシーは、離職率が20〜30%といわれる業界にあって、わずか1.5%という低い離職率を実現しており、社員同士の幸せがお客様を幸せにするという好循環を生み出しています。

利益よりもお客様の満足と幸福実現を優先する中央タクシー。長野県に足を運んだ際には利用してみたいですね。

今日の心がけ◆真心を持って接しましょう。

視野が広いとは、どのようなことなのでしょう。

一般的に「視野が広い人」というのは、今だけや目の前のことだけではなく、これから先のことを見据えた行動や、周りの人の事を考えた言動ができる人のことだと思いません。

また、視野の広がりを実感するには、自らが成長し、過去の自分を顧み^{かえり}た時初めて「視野の狭さ」や「視野の広がり」を感じることができると考えます。

視野を広げるには、自らが成長するしかありません。決して今までの自分を正しいと思わず、新しい知識や体験、人との触れ合いによって過去の自分にはないような考えにふれ、吸収することで、視野を広げることができると感じます。

これから、社会に出ていく私たちにとって、新しいものに遭遇^{そうぐう}する機会は沢山^{たくさん}あると思います。そのようなときに、素直さをもって受け入れ、時には貪欲^{どんよく}に学ぶことによって、自然と視野を広げていく事が可能となるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆視野を広げましょう。

キリスト教には、七つの大罪と呼ばれるものがあります。これは、暴食ほうじょく、色欲しきよく、強欲きょうよく、憤怒ふんぬ、怠惰たいだ、傲慢ごうまん、嫉妬しつとという人間を罪に導く可能性のある七つの欲望や感情のことをいいます。

そのなかで、私達にもっとも身近なのが、「怠惰」です。

誰しもが、「やるべきことがあるのに、ついつい楽な方へ流れてしまう。」「手を付け
てはいるが、なかなか進まない。」といった経験をしたことがあるのではないでしょう
か。

このような状態は、検定後など、何かしらの緊張状態から解放されたときに起こりま
す。もちろん、リラックスすることは大事です。しかし、そこでメリハリをつけなけれ
ば、いつまでもその状態を引きずってしまいます。

そのような状態に陥らないためにも、日頃からメリハリをつけた生活をすることが大
切ではないでしょうか。

今日の心がけ◆怠惰になっていないか振り返りましょう。

みなさんは、困難にぶつかったとき、どのように立ち向かっていますか。

私たちが、これまで困難を乗り越えて来られたのは、いつも誰かの支えや助けがあったからではないでしょうか。

独立自尊とは、明治国家が誕生した時、福澤諭吉ふくざわゆきちによって遺のこされた言葉です。この言葉は、「他人の力を頼る人は、人のご機嫌をとるようになり、利用されてしまうことがある。そのため、自分で考え、自分で行動し、他人に頼らない精神を持つことが必要だ。」という考えです。

困難にぶつかったとき、信じることができる誰かを頼るのも、一つの方法かもしれませんが。しかし、このような時こそ、一人で立ち向かっていく覚悟も、必要なのではないのでしょうか。本気で立ち向かっている姿に、周りの人は自然と手を差し伸べてくれます。私たちは、支えあって助け合って生きていますが、周りの人の優しさに甘えすぎないようにしたいものです。

今日の心がけ◆強く生きましよう。

「ここに暮らす喜びと、切なさまでも共感できる市民と地域でありたい。」というコンセプトのもと、熊本では「みずあかり」という祭典が行われます。

「竹」「水」「ろうそく」等の熊本の資源を生かした灯りの祭典で、七千人のボランテニアの手によって、熊本の夜の街が灯りで包まれます。

竹の隙間からろうそくが溢れ、美しい光と強い影ができます。

ドイツを代表する文豪、ヨハン・ヴィルフガング・フォン・ゲーテ氏は、「光が多いところでは、影も強くなる。」という名言を残されています。

私たちも、しっかりと学び、土台を身につけて、社会に出て輝く人になりたいですね。

今日の心がけ◆しっかりと学びましょう。

戦後日本を代表する実業家のひとり、「経営の神様」の異名を持つ人物がいました。世界的な総合家電メーカーである「松下電器産業」（現・パナソニック株式会社）を一代で築き上げた経営者、松下幸之助です。

経営の神様と呼ばれる所以は、自主責任経営の徹底と経営者の育成を目的として、日本で初めて組織としての事業部制を実施するなど、独自の思想を持って経営に携わる名手として天才的な技量を発揮していたことに由来します。

そんな成功者としての松下幸之助ですが、少年時代を自分ではどうにもできない境遇の中で過ごしました。松下家が幼い頃に凋落したため、小学校を4年で中退し、9歳で親元を離れ丁稚奉公に出されます。さらに、毎年10月から3月まで風邪で床に伏せるほど常に健康状態も良くありませんでした。

しかし、松下幸之助は成功の秘訣を「貧乏で学歴もなく、体も弱かった。だから成功した。」と述べています。貧しかったからお金の価値がわかった。学歴がないから自分より優秀な人の力を借りた。健康でなかったから人に任せるしかなく、結果的に部下が育った。普通ならば成功しない理由として挙げられるような要因が、自分を成功に導いたと考えていたのです。

禍を転じて福と為す。まさに、松下幸之助は自身に降りかかった災難を立場や見方を変えてみることによって、成功への足掛かりにしたのです。事実は一いつです。しかし、考え方はひとつではありません。自分の選択した考え方で、禍を禍のままにしないようにしましょう。

今日の心がけ◆見方を変え、福を増やしましょう。

蛍丸とは、1931年に国宝に指定され、太平洋戦争末期の混乱の中で所在不明となった、阿蘇神社の宮司ぐうじに代々伝わる宝刀ほうとうです。

「刀剣乱舞とうけんらんぶ」というゲームから爆発的に広まった刀剣ブームを追い風に、地元の特産品企画会社「阿蘇・岡本」は、今年2月から「蛍丸サイダー」の開発を進めていきましたが、熊本地震により完成間近に被災してしまいました。

阿蘇神社は本震により、国の重要文化財である楼門ろうもんが倒壊、神殿しんでんや社殿しゃでんなども大きな被害を受けました。しかし、被災から1か月後の5月16日、「阿蘇神社復興プロジェクト」として「蛍丸サイダー」が発売されました。

1本100円を神社復旧のために寄付しており、発売から3週間で3万本売れ注目されています。

しかし最近では、震災のことがニュースやネットで取り上げられることが少なくなってしまうているように感じます。ボランティアに来てくださる方も減少しているようです。まだまだ熊本は復興できていません。自らボランティアに参加するなど、できることを少しでもしていききたいですね。

今日の心がけ◆自分にできることをしましょう。

教養とは、学問や幅広い知識、精神の修養を通して得られる「創造的活力」や物事に対する「理解力」などをいいます。また、社会生活を営む上で必要であり、専門的、職業的知識を意識したものを「一般教養」と称します。

教養という言葉は、その基となった英語やフランス語の *culture* が、「耕作」という意味のラテン語の *cultura* からきていることから、人間の精神を耕すことが教養であるとして「心の耕作」とも表現されています。

何を以て心を耕すかは人それぞれですが、一般的に教養を身につけるのに最適なことは、本を読むこと。多くは古典や歴史書だと言われています。

しかし、ただ本で学ぶだけでは、立派な教養人ではなく、ただの知識人になってしまいます。知識をもって、それをどう活かすかが、立派な教養人としてのカギではないでしょうか。

また、必要とされる教養は、年代や環境によって変化していきます。今、私達が身につけておくべき教養は何なのか、改めて考えてみましょう。

今日の心がけ◆自分に必要な教養とは何か考えてみましょう。

みなさんは、ラーメンは好きですか。ラーメンとは、麺・スープ・具材で構成されており、日本の国民食と称されるほど人気です。

元々、ラーメンの発祥地は中国ですが、日本にラーメンが伝わったのは、明治時代に開国された港に出現した南京街（なんきんまち）に、中華料理店が開店したのがきっかけです。

現代では、麺やスープにアレンジを加え、ご当地ラーメンという食文化が根付きました。北海道では札幌ラーメン、東京では東京ラーメン、福岡では博多ラーメンという様に、各地方の独特な文化によって培（つちか）われたラーメンは、もはや中華料理ではなく、日本食と言っても遜色（そんしよく）ないと言えるのではないのでしょうか。

このように、異国の食文化を自分たちの文化に取り込み、アレンジをする事により日本独特の文化へと昇華させたのです。

みなさんも、異文化を理解し、受け入れることで、自分自身の成長につなげてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆異文化を取り入れましょう。

みなさんは、見えている世界が変わったことがありますか。

初めて眼鏡をかけたとき、物がはつきり見えることに、ちよつとした感動を覚えた方も少なくないでしょう。眼鏡は、視力が良くない人、色盲しきもつ、色弱しきじゃくを持つ人にとつても、感動を与えています。

色覚が矯正きょうせいできる眼鏡を、色盲の男性がかけた瞬間、驚きのあまり声を失つたそうです。初めて色のついた世界を見た感動は計り知れませんが、その眼鏡は彼の人生を変えたと言っても過言ではないでしょう。このように、一番身近にある医療機器でもあります。

そして、大事なのは目の健康です。度のあつていない眼鏡や、コンタクトレンズの長時間使用など、使い方を間違えてしまえば医療機器ではなく、人体に悪影響を与えることになってしまう恐れがあります。

眼鏡とコンタクトレンズの正しい使用を心がけ、毎日をより良いものにしていきたい今日の心がけ◆自分の目に気を遣いましょう。

冬といえば鍋の季節です。

水炊き、もつ鍋、ちゃんこ鍋、おでん、すき焼き、湯豆腐、ミルフィーユ鍋など、バラエティーに富んでいる点が魅力的です。

鍋は体が温まり、免疫力をつけることができます。また、野菜を沢山たくさん取ることができますので、健康にも良いでしょう。

さらに鍋は、家族団だんらん欒らんの手段にもなります。孤食こしょくが増えている近年こそ、家族揃そろっての食事を見直すべきではないでしょうか。

そのためにも、家族皆が集まる休日などに、家族と鍋を囲んではいかがですか。

今日の心がけ◆家族で鍋を囲みましょう。

「人生とは、意思決定の連続である。」

意思決定とは、特定の目標等を達成するために、ある状況において、複数の代替案から、最善の案を求めようとする、人間の認知的行為の一つです。

例えば、新居に移ろうと考えた場合、賃貸か購入か、間取りや新居の場所はどうかなど、様々な案が浮かびあがります。そして、その複数の代替案の中から、自分に一番合うものはどれか、検証・分析を行い、最善の案を決定します。

また、会社の経営においても、最善の経営方針を決定するために、意思決定が行われます。つまり、「意思決定は、あらゆる場面において、最善の選択をするために必要不可欠なもの」ということです。

今一度、自分の将来を見据えて、将来の自分に近づけるよう、日々、最善の選択をしたいものですね。

今日の心がけ◆今、すべきことを考えましょう。

「敬天愛人」で知られている西郷さんは、「自分のことを慕^{した}ってくれる者がいる限りは、その人たちのために尽くし、それで死んでも本望。それが自らへの天命である。」という生き方を貫きました。

そんな西郷さんは、島津斉彬^{しまづなりあきら}と親交が深かったため、斉彬が急死すると、あとを追って死のうと考えます。この時は、清水寺の月照^{きよみずでら}に諭^{げつしょう}され、思い留^{とど}まります。

また、2度の島流しにあいますが、西郷さんの力を必要とした大久保利道^{おおおくほとしみち}などのおかげで、鹿児島に帰ることが許されました。

このように稀^{まれ}にみる経験を経て、幕末で活躍し、明治維新を成し遂げることができました。

今もなお、「さん」付けで呼ばれ、慕われている西郷さんは、「日本史上、最も誰からも愛されたと言っても良い」と言われています。

今日の心がけ◆自分の生き方を貫きましょう。

「理想の上司を教えてください。」「もしもあなたが望まない上司の部下になったとしたらどうしますか。」などの質問は、就職活動をしていると一度は耳にする質問ではないでしょうか。

このように、上司に関する質問に対して、みなさんはどのように考え、答えますか。先日新聞に新入社員が3年で辞めてしまうという記事が掲載され、その理由の一つに人間関係が挙げられています。特に、上司との関係があるようです。

学校には、先輩や先生方がいて、毎日接点があることは、とてもありがたいことだと思います。

改めて、挨拶や返事、敬語など、日頃の生活を見直すことが大切です。これから社会に人になるにあたって、今のうちから、最低限のマナーはしっかりと身につけておきたいものですね。

今日の心がけ◆人との関わり方を身に付けましょう。

熊本県には、日本で「唯一味噌にご利益がある」といわれる神様を祀った、本村神社（味噌天神）があります。

奈良時代に、悪疫が流行した際、平癒を祈願して「御祖天神」を御祭神として祀ったのが始まりとされています。その後、国分寺で大量に腐ってしまった味噌を、美味しい味に変えた、という言い伝えから味噌天神と呼ばれるようになりました。

味噌は、大豆や米、麦等の穀物に、塩と麴を加えて、発酵させて作られます。「医者金払うよりも、味噌屋に払え」ということわざができるほど、体に良く、がん予防や老化防止、美肌効果があります。

味噌の歴史は長く、平安時代では、貴重な食品で、おかずや薬として利用されていました。現代のように、水に溶かして食べるようになったのは、鎌倉時代からと言われています。戦国時代には、戦場での食料として食べられていました。武将たちは、味噌作りを奨励し、信州味噌や仙台味噌など、地方の特色ある味噌が誕生しました。

それぞれの風土に合わせて作られた味噌が、数多くあります。日本人の生活を支えてくれた味噌を大事にしたいですね。

今日の心がけ◆味噌に感謝しましょう。

みなさんは、日々の掃除をどのような気持ちで行っていますか。「きれいにしよう」と思って掃除をしている人もいれば、「めんどくさいな」と思っている人もいるかと思えます。

掃除は、ただ単に行えばいいということではありません。面倒だと思って掃除をしても掃除の意味がないのです。きれいにしようという心構えがなければ、いくら掃除をしてもきれいになりません。

掃除をすることは、その場をきれいにするだけではなく、心も育まれます。松下電器の創立者である松下幸之助さんは、人財教育において掃除を大切にしていました。

それは、専門的な知識や技術の習得の前に、一人の自立した人間になることが大切であり、社会人として人間的修養を積むためにも、掃除が必要であると考えていたためです。

私達は、学校で毎日のように掃除をしています。掃除をすることは、単にきれいにするだけではなく、自立した人間になるためにも日々の掃除を大切にしていきましょう。

今日の心がけ◆掃除を大切にしましょう。